

○令和7年8月30日(土)、中野洋昌国土交通大臣が8月7日からの大雨で被災した熊本県内の土砂災害や浸水による被災状況や、河川や道路といったインフラの被害状況を視察されました。

○(主な大臣発言)

「国土交通省として何が出来るかを考え、引き続き、しっかり支援してまいりたいと思います。」

「国土交通省の現場力を発揮して、皆様の声に丁寧に耳を傾けながら、熊本県と連携し、被災地の早期の復旧・復興に全力で取り組んでまいります。」

■被災地視察状況



県道三本松甲佐線(やな場前)【甲佐町】



一の谷川・堆積土砂【美里町】



安部地区・急傾斜【美里町】



境川・溢水及び内水浸水【玉名市】

■被災地視察状況



木葉川・堤防決壊【玉東町】

■熊本県知事との面会



意見交換会



要望書手交



ぶら下がり会見

■視察概要

＜日 時＞ 令和7年8月25日(月)9:55～10:10
＜場 所＞ 国道10号網掛橋
(鹿児島県始良市加治木町本町)
※網掛川(県管理)の護岸被災状況視察と合わせて実施
＜参加者＞ 鹿児島県知事 塩田 康一
始良市長 湯元 敏浩 ほか



■視察状況



坂井防災担当大臣のコメント

- ✓ 整備されていた護岸が流されるほど大きな力が加わったということですね。
- ✓ 復旧に向けて下部工の対策を進めるということですね。